

郵便内務作業の能率調査の実施について

1 趣旨

必要労働力算出に用いている郵便内務の要員算出標準(作業能率)を新たに設定するため調査を行う。

2 対象局等

局名	実施日
新潟郵便局	6月6日(水)～6月8日(金)

3 調査員

支社社員及び損益改善推進室員が実施。

なお、物数把握や一部作業内容の把握については、郵便局社員に依頼する。

4 調査作業

- (1) 次世代区分機の差立、配達1パス、配達2パス、ビデオコーティング(VC)作業
- (2) 転送ラベル自動貼付機の差立作業

5 調査事項

(1) 単位能率調査

1通当たりの作業能率を求めるため、調査対象作業の被調査対象者を複数選定し、ストップウォッチにより処理時間を測定するとともに処理物数を調査します。また区分機供給の単位能率については、区分機稼働時分及び区分機稼働中の区分機操作員等の実働時分を区分指定面別に調査します。

(2) 工程別物数調査

作業工程ごとの発生比率を求めるため、調査対象作業ごとに、便別又は時間帯別に物数及び回数等を調査します。

(3) 実働時間調査

調査対象作業の従事者全員の実働時間の内訳(基本作業、運搬作業、移動、雑務)を種類別・事務別に1分単位で調査します。

(4) 代表物数調査

実働時間調査の対象郵便物について1日(24時間)の物数を種類別・事務別に調査します。

6 その他

本調査は調査対象局や被調査者の成績を評価するものではありません。